

僕らが生きていくために・・・

鴨下全生（かもしたまつき）17歳。

2011年3月、8歳の時に福島県いわき市から東京へ避難。
自宅は原発から約40km。避難指示区域外からの避難者として、様々な偏見や差別、いじめを経験しながら東京で育つ。



講演会での証言（2019.4.3）パリ

2013年末に、秘密保護法が成立する時の国会周辺の様子を見て、このままでは自分の被害や理不尽が闇に葬られてしまうと危機感を持ち、徐々に集会などでの発信を始める。一方で、いじめ等に起因するPTSDに苦しみ、度々体調を崩す。

2018年秋、悪くなるばかりの国政に絶望し、政府が主導する分断や差別の中で、声を上げる力も奪われている原発事故被害者の状況に堪えられなくなり、ローマ教皇へ手紙を送る。翌3月、教皇との謁見を果たし、原発被害者の実情を伝えた。福島原発被害東京訴訟原告。

《法王へ送った手紙 抜粋》

何故ぼくらは、避難しているというだけで、いじめられるのでしょうか。

子どもだけではなくありません。大人達も様々な差別やいじめ、誹謗中傷を受けています。被害に遭ったものが、更にいじめや差別まで受けるのは、何故なのか。

それは、原発が国策であり、その被害者の証言は国策を否定するものとなるからです。

原発政策をこれからも拡大してゆくために、被害を矮小化し実態を語らせまいとする為政者たちの歪んだ政策やプロパガンダが、大人だけでなく僕たち子どもの世界まで狂わせているのです。

望むと望まざるとにかかわらず、僕たちはこれから、大人の出した汚染物質とともに生きることになります。一方で、僕らの口を塞ぎ、加害を隠そうとする大人達の多くは、本当の被害を見ないうちに先に寿命が来て死んでしまうでしょう。

でもそんな逃げ方が赦されるのでしょうか？



ローマ教皇に原発被害を伝える（2019.3.20）バチカン

儲けるだけ儲けて、たくさんの嘘をついて、日本だけでなく世界の海を汚したまま、そのつけを全部僕たち子どもに負わせて、先に死んでしまうなんて酷すぎます。

多分、僕の本当の望みは、きっと、ごく普通に隠し事の無い社会で平和に暮らしたいということだけなのだと思います。

しかし、原発事故被害者はこの社会の中で何か目をつぶり、耳をふさぎ、口を閉ざさなければ安全に生きていくことができません。（以下省略）

【メッセージ】

原発へも気候変動へも、科学は十分な警告を発してきました。しかし為政者、権力者らは、ぐずぐずと問題を先送りして、責任から逃れようとしています。僕は、自分達の未来を無責任な大人達によって壊されたくありません。今回は気候サミットですが、気候変動だけにフォーカスすると『原発は温暖化ガスを出さないからむしろ推進すべきだ』という意見が出てしまいかねないので、敢えて僕は原発被害者の立場からお話しをしたいと思っています。

僕らが生きていくために・・・

鴨下全生（かもしたまつき）17歳。

2011年3月、8歳の時に福島県いわき市から東京へ避難。
自宅は原発から約40km。避難指示区域外からの避難者として、様々な偏見や差別、いじめを経験しながら東京で育つ。



講演会での証言（2019.4.3）パリ

2013年末に、秘密保護法が成立する時の国会周辺の様子を見て、このままでは自分の被害や理不尽が闇に葬られてしまうと危機感を持ち、徐々に集会などでの発信を始める。一方で、いじめ等に起因するPTSDに苦しみ、度々体調を崩す。

2018年秋、悪くなるばかりの国政に絶望し、政府が主導する分断や差別の中で、声を上げる力も奪われている原発事故被害者の状況に堪えられなくなり、ローマ教皇へ手紙を送る。翌3月、教皇との謁見を果たし、原発被害者の実情を伝えた。福島原発被害東京訴訟原告。

《法王へ送った手紙 抜粋》

何故ぼくらは、避難しているというだけで、いじめられるのでしょうか。

子どもだけではなくありません。大人達も様々な差別やいじめ、誹謗中傷を受けています。被害に遭ったものが、更にいじめや差別まで受けるのは、何故なのか。

それは、原発が国策であり、その被害者の証言は国策を否定するものとなるからです。

原発政策をこれからも拡大してゆくために、被害を矮小化し実態を語らせまいとする為政者たちの歪んだ政策やプロパガンダが、大人だけでなく僕たち子どもの世界まで狂わせているのです。

望むと望まざるとにかかわらず、僕たちはこれから、大人の出した汚染物質とともに生きることになります。一方で、僕らの口を塞ぎ、加害を隠そうとする大人達の多くは、本当の被害を見ないうちに先に寿命が来て死んでしまうでしょう。

でもそんな逃げ方が赦されるのでしょうか？



ローマ教皇に原発被害を伝える（2019.3.20）バチカン

儲けるだけ儲けて、たくさんの嘘をついて、日本だけでなく世界の海を汚したまま、そのつけを全部僕たち子どもに負わせて、先に死んでしまうなんて酷すぎます。

多分、僕の本当の望みは、きっと、ごく普通に隠し事の無い社会で平和に暮らしたいということだけなのだと思います。

しかし、原発事故被害者はこの社会の中で何か目をつぶり、耳をふさぎ、口を閉ざさなければ安全に生きていくことができません。（以下省略）

【メッセージ】

原発へも気候変動へも、科学は十分な警告を発してきました。しかし為政者、権力者らは、ぐずぐずと問題を先送りして、責任から逃れようとしています。僕は、自分達の未来を無責任な大人達によって壊されたくありません。今回は気候サミットですが、気候変動だけにフォーカスすると『原発は温暖化ガスを出さないからむしろ推進すべきだ』という意見が出てしまいかねないので、敢えて僕は原発被害者の立場からお話しをしたいと思っています。